



火災発生を消防署に通報(訓練)



地震発生時は、まず安全の確保し揺れが収まると同時に火災発生の場合は消防署への通報と初期消火を行う

5月10日(水曜日)地震と火災発生を想定して、防火訓練が行われました。利用者様の安全確保や避難誘導はもちろんです。地震の場合は自身の安全確保、さらに火災発生の場合は通報、そして初期消火など迅速で落ち着いた行動が必要です。

訓練と申告した上で実際に消防署への連絡や消火器の使い方など、火災を想定しての訓練は多いものがあり、今後も必要な事と思います。

訓練とはいえ入所者様には明らかな不安も見られ、万が一の時は入所者様の不安を取り除くのは大切です、今後の課題と言えるでしょう。



防火訓練

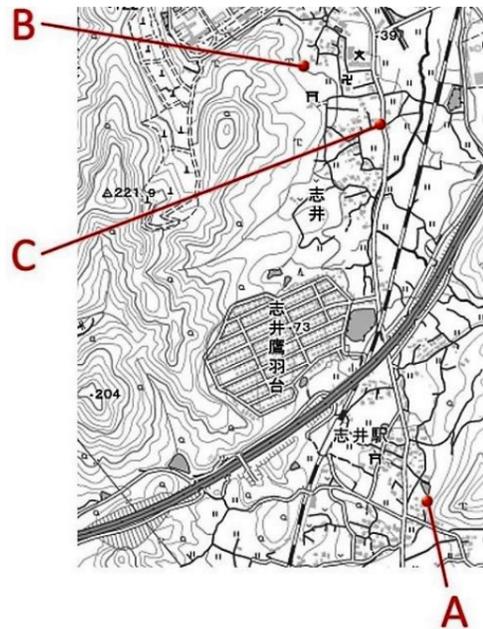
ふたばよもやま話 (第六回)

～志井～

双葉苑の近くに“志井、”という地名があります。JRには志井駅、志井公園駅、北九州モノレールにも志井駅があり、みなさんにはなじみ深い地名ではないでしょうか。

さてこの志井の語源ですが、諸説あるものの四つの井戸、つまり「四(し)井(い)」が「志(し)井(い)」になったという説が有力です。

四つの井戸ですが、県道257号線沿い志井小学校近くにある井戸は比較的わかりやすいのですが、他の井戸は少し分かりづらいようです。興味あるみなさん、身近な郷土の歴史を探訪してみたいはかがでしようか?



Cの井戸は県道沿いなので判りやすいが、AとBは若干の探訪が必要。残る一つの井戸は場所がはっきり特定できないらしい。

職員紹介コーナー
今回は村上果恋(かれん)さんの紹介です。果恋さんは、健康維持に大切なお茶や飲料の配膳はもちろん、朝のラジオ体操や食事紹介にはなくてはならない、まさに“朝の顔”です。果恋さんは入所者様にも優しく接し、大人気でアイドル的存在ですが、子供の頃よりの夢を実現させるため、今夏よりフランスに留学をされるということです。果恋さん、夢の実現のために頑張ってくださいね。



ひまわりの様な笑顔が素敵な村上さん

フランスに行っても双葉苑で積んだ経験を活かし頑張ってください



利用者様の安否確認と誘導は最重要事項

今月の予定(7月)

石橋医院回診(毎月曜日)

3日、10日、24日

ますゆき皮膚科回診

6日(木曜日)

小倉北歯科回診(毎木曜日)

6日、13日、20日、27日

七夕会

7日(金曜日)

健康体操(隔週月曜日)

10日、24日

ビューティヘルパー

19日(水曜日)

生花

26日(水曜日)

苑外ハイク

随時

7月より面会を再開します。希望の方は事前に連絡をお願いします

【編集雑記】

▼博多祇園山笠(福岡市)、小倉祇園大鼓(小倉北区)、戸畑祇園大山笠(戸畑区)、鬼夜(久留米市)に田川市の川渡り神幸祭の五つの祭を「福岡県五大祭り」と言われ、県庁最上階のロビーにはそれぞれの祭りを描写した錦絵の織物が展示されている
▼田川市の川渡り神幸祭は、田植えを控え、たぐさんのお米が実りますように、という神様へのお願いと共に、かつて流行した疫病終息のお札を兼ねて、大山笠を奉納したのが起源と言われている▼もともと病魔退散を祈願した祭りが新型コロナウイルスという“現代の病魔”のために祭りが3年間中止を余儀なくされた。まったく皮肉なことである▼その病魔もやっと退散の兆しをみせ、今回の開催となったわけである▼初夏の二日間、神様の“一泊旅行”が行われたわけであるが、二日目は御旅所と言われる仮殿から本宮へ帰る“御のぼり”の行程で、苑の職員も付き合いの広い南野主任のおかげで男性は神輿担ぎ、女性は支援部隊として参加、貴重で楽しい経験をすることができた▼苑のチームが参加したのは「白鳥神社」、その他伊田駅前鎮座する「風治八幡宮」の大神輿や各地区から参加する職山笠の“かきて”として参加した職員もいて、祭りの随所に職員の顔を見ることができた▼仕事ではないものの、危険が伴い結束力無くしては絶対にスムーズにはいかないのが祭りである。またいい意味での先輩後輩、年長者などの“上下関係”が学べるのが祭りの場である▼日頃はまったく違う莫大なエネルギーを消費したであろうことは容易に想像でき、こりこりと思うこともあったかもしれないが、必ず来年も参加したくなるのが祭りの不思議なところである▼日頃できない貴重な体験をさせてもらった主任に感謝するとともに、祭りで培った団結力、さらには発揮した大きな力を介護業務に活かしてほしいものである。